

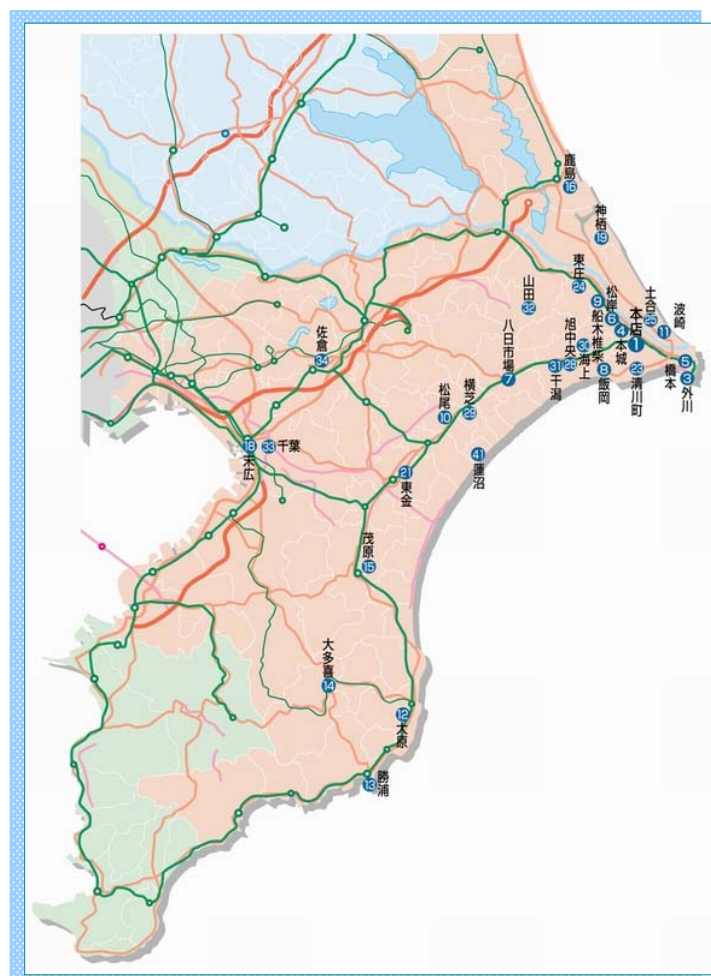
# 2012

10月号

## ちょうしんきん

# 景況レポート

### Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	29	0
今後3か月程度の見通し	0	27	2

【漁業】

銚子港の平成24年9月の総水揚げ数量は3,056トンで前年同月比▲3,797トンの減少となった。総水揚げ金額は1,064百万円で前年同月比▲474百万円の減少となった。鯷、サンマの水揚げは増えたがイワシ、鯖が前年同月比水揚げ数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚げ数量、水揚げ金額とも減少した。9月は鰹、鮪の不漁が影響している。

【農業】

銚子地区では、秋冬物のキャベツ・大根の植えつけ時期に入り、農家は定植作業に追われ繁忙となっているが、早いものは10月下旬の出荷を目指している。高原キャベツの安値が続いており、相場への不安がある。

【商業】

小売業では、残暑が厳しく、秋物商品の出足が低調だった。消費者の節約志向は強く、大型店との競争の激化もあり、依然として厳しい状況が続いている。

マイカー購入は一段落したが需要の先喰からの回復が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

【建設業】

平成24年8月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で43,830百万円（前年同月比+20,839百万円）、茨城県は23,884百万円（前年同月比+12,200百万円）となった。また前月（7月）と対比して千葉県は+25,005百万円、茨城県は+13,329百万円増加した。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が増加した。

【観光業】

観光業は、秋のシーズンに入り天候にも恵まれ週末の稼働状況が良好で例年を上回った。しかし、晩秋から冬の時期は閑散期であり、予約状況は前年程度で好転は見られない。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



## 2. 主要業種別動向

### ■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年9月の総水揚数量は3,056トンで前年同月比▲3,797トンの減少となった。総水揚金額は1,064百万円で前年同月比▲474百万円の減少となった。鰯、サンマの水揚げは増えたがイワシ、鯖が前年同月比水揚数量・金額ともに減少した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも減少した。9月は鯉、鮪の不漁が影響している。

サンマの漁場は根室沖5時間の漁場で、魚体は大型魚が2割と太いサンマが少なく、今後南下するサンマにも期待は薄い。

波崎港では、稼働日数は前月より3日増加して14日となった。9月の総水揚数量3,705トン、総水揚金額251百万円、対前月比水揚数量は▲3,230トン減少、同水揚金額も▲243百万円の減少となった。船団の大半が八戸沖に移動したため鯖が中心となった。

勝浦港では、総水揚数量は29トンで総水揚金額24百万円となった。前年同月比では、鯉・鮪の水揚げが落ち込んだことにより総水揚数量、総水揚金額ともに大きく減少した。前月対比でも、総水揚数量で▲412トン、総水揚金額も▲140百万円減少した。大原では伊勢エビ漁が解禁となったが、小ぶり水揚げ量も少ない。

水産加工業では、新サンマ入荷により解凍サンマの需要が停滞している。チリ産銀鮭の魚価が低迷し、青物（サンマ、鯖、イワシ）の需要・価格に影響がでており停滞基調が続いている。

## 銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

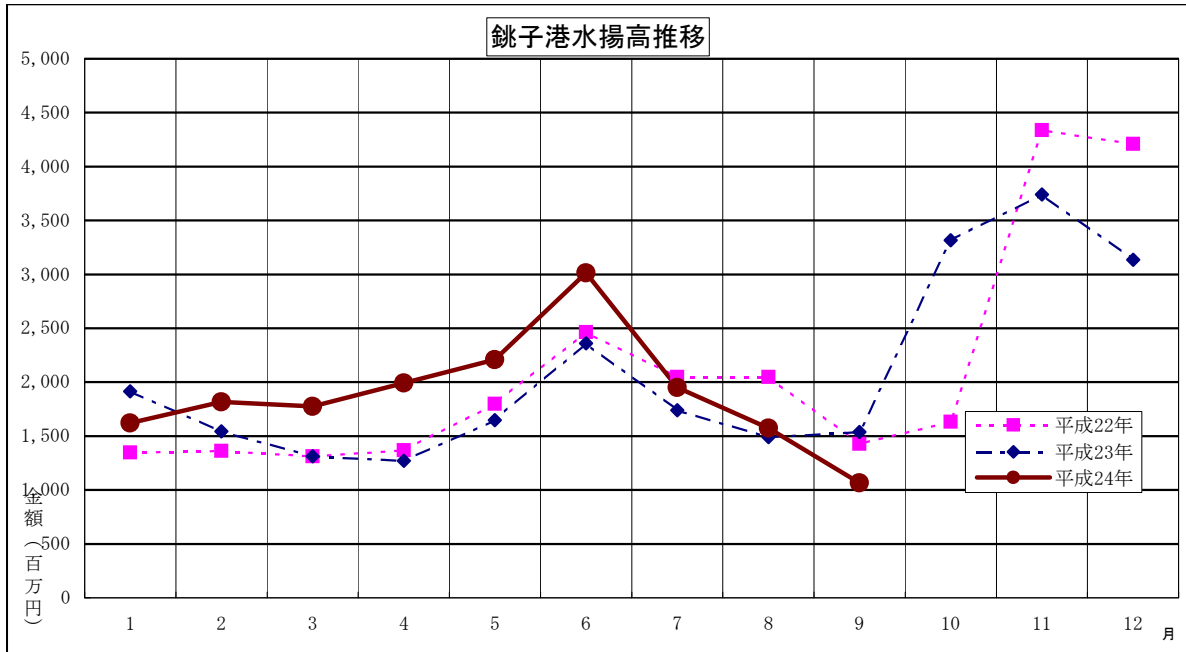
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H24年9月	H23年9月	前年同月比	H24年9月	H23年9月	前年同月比
鰯		92	2,555	▲ 2,463	8,657	199,715	▲ 191,058
鯖		109	1,524	▲ 1,415	7,960	169,726	▲ 161,766
鰯		1,041	618	423	170,239	75,056	95,183
鯉・鮪		983	1,347	▲ 364	592,917	787,278	▲ 194,361
(内鯉一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		566	477	89	108,901	98,943	9,958
底曳		95	170	▲ 75	49,500	72,444	▲ 22,944
その他		170	162	8	126,587	135,850	▲ 9,263
合計		3,056	6,853	▲ 3,797	1,064,760	1,539,012	▲ 474,252

前月比	数量	27.19%
	金額	67.67%
前年同月比	数量	44.59%
	金額	69.18%

## 水揚日数

	H24年9月	H24年8月	H23年9月
鰯	1日	10日	5日
鯖	6日	5日	6日
鰯	9日	4日	5日
鯉・鮪	13日	18日	18日
(内鯉一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	10日	1日	6日
底曳	18日	0日	16日
その他	21日	22日	24日





## ■ 農 業

銚子地区では、秋冬物のキャベツ・大根の植えつけ時期に入り、農家は定植作業に追われ繁忙となっているが、早いものは10月下旬の出荷を目指している。高原キャベツの安値が続いており、相場への不安がある。

波崎地区のピーマンは、暑さが続き例年より出荷量が少なく、価格は前月、前年比安値で取引された。福島県での転作奨励によりピーマン出荷が増え、安値推移の予想。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）10円～35円程度、トマトは1箱（4Kg）300円～1,300円程度で取引された。前月と比較してキュウリは10円程度値上がりし、トマトも200円程度値上がりして取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。

飯岡地区のパセリ・春菊の出荷では、日差しが強く集荷が少なかった反面、高値で推移した。ハウストマトの出荷が始まった。

新米については、1反当たり10俵程度と豊作で、単価も1俵16,000円程度と前年比2,000円ほど高値で取引されている。

## ■ 商 業

個人消費については、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されているほか、観光客・帰省客が戻ったことから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

マイカー購入は一段落したが需要の先喰から今後の販売が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業では、残暑が厳しく、秋物商品の出足が低調だった。消費者の節約志向は強く、大型店との競争の激化もあり、依然として厳しい状況が続いている。

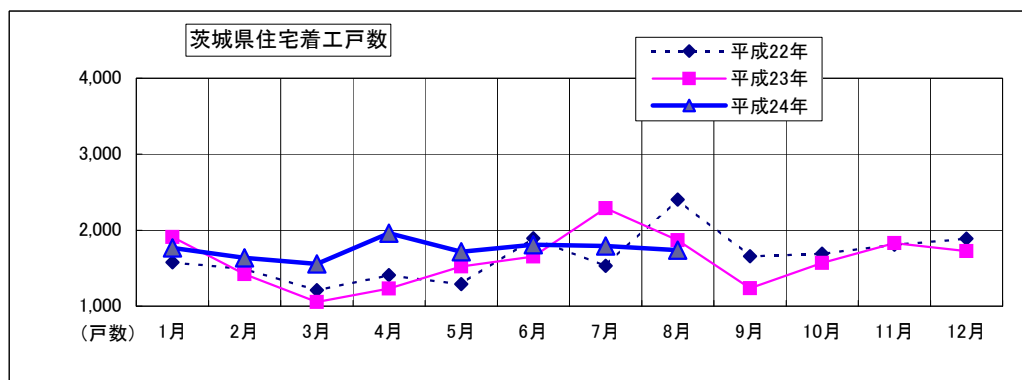
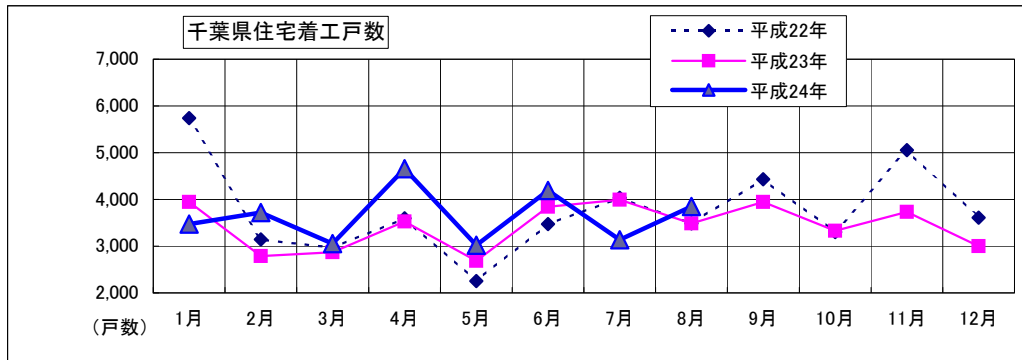
銚子地区では、「銚子市プレミアム付商品券」が発行され、中小の商業者等に経済効果をもたらすことが期待される。

また、国道126号沿い三崎町に大型衣料品店2店舗が開店し、既設のショッピングモールとの競争が始まり、中小小売店への影響が懸念される。

## ■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,846	3,138	708
茨城県	1,738	1,793	▲ 55



平成24年8月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で43,830百万円(前年同月比+20,839百万円)、茨城県は23,884百万円(前年同月比+12,200百万円)となった。また前月(7月)と対比して千葉県は+25,005百万円、茨城県は+13,329百万円増加した。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が増加し、千葉県では国の機関からの受注が前年同月を上回り、茨城県では地方の機関からの受注が前年同月を上回る結果となった。

平成24年8月の住宅着工戸数は、千葉県では3,846戸と前年同月比+10.36%(361戸)の増加となった。茨城県については、1,738戸で▲7.06%(▲132戸)減少した。なお、前月(7月)対比については、千葉県で708戸の増加、茨城県では55戸の減少となった。

国土交通省統計情報より

## ■ 観光業

観光業は、秋のシーズンに入り天候にも恵まれ週末の稼働状況が良好で例年を上回った。しかし、晩秋から冬の時期は閑散期であり、予約状況は前年程度で好転は見られない。

遊漁船関係は、放射能汚染の風評も収まり、ヒラメの釣果が好調であり利用客も増加が見込まれている。

銚子地区では、県内初の日本ジオパークの認定を受け、観光を主体とした地域活性化への期待が高まっている。

勝浦地区では、B-1グランプリのプレ大会、大多喜地区では、お城まつりに多くの来場者があり、顧客が戻ってきているとの声がある。

飯岡地区では、震災で被災した先で新たな遊漁船が建造され、進水式が行われた。また、観光業を柱とするグループ補助金の対象先が出店する「復興フェスタ」が10月に開催されることから、集客に期待している。

一方で営業を終えるホテルも続いており、銚子では9月も観光ホテル1軒が業績不振で廃業した。

情報アドバイス  
銚子商工会議所

## ■ 不動産業

千葉市中央区では、総区画128区画の分譲計画が進行している。

茨城県神栖市では、土合地区で複数の分譲計画が進んでおり、計画が遅れている案件もあるが予約状況は順調な模様。また、同地区では大手企業の社宅跡地で分譲が計画されており、解体工事が始まった。

## ■ 養豚業・畜産業

平成24年9月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均176円/kgで前月比+19円/kg値上がりした。前年同月比については▲7円/kg値を下げた。豚枝肉の卸売価格相場は、450円/kgで前月比▲30円/kg値下がりした。前年同月比では同水準となった。養豚業においては、飼料価格が高騰しており、厳しい状況が続く。

## ■ 自動車ディーラー

平成24年9月の千葉県新車登録台数は13,115台で、前年同月対比90.83%（▲1,324台）の減少となり、13ヶ月ぶりに前年同月台数を下回った。また、前月対比では123.17%

(+2,467台)の増加となった。

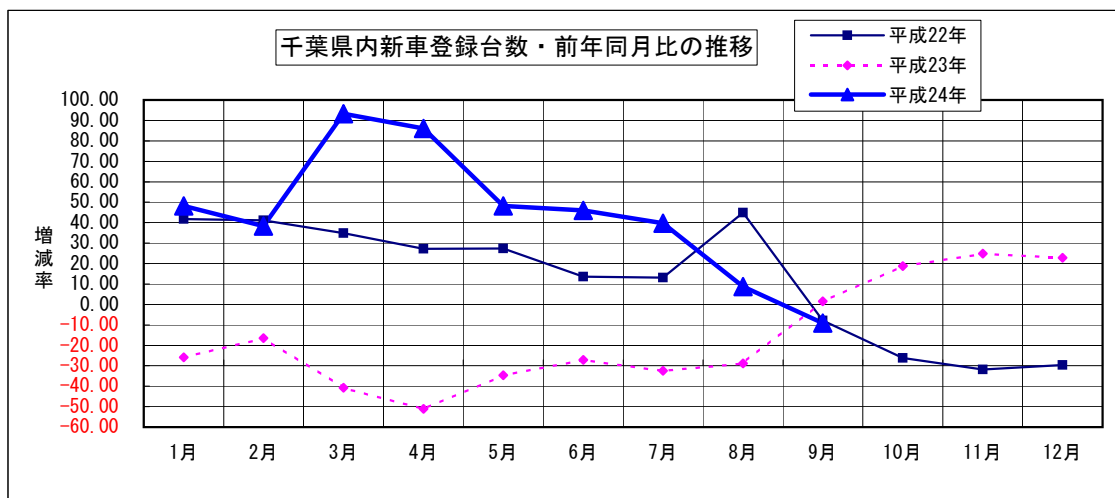
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では11,210台の登録台数で前年同月対比88.63%（▲1,438台）となった。また、貨物車市場は1,540台の登録台数で前年同月対比104.98%（+73台）となった。

占拠率はトヨタが41.1%を確保しており、次いで2位は、2ヶ月連続で日産（18.6%）となり、ホンダ（10.5%）は3位となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,505	4,683	117.55%	6,341	86.82%
	小型	5,705	4,600	124.02%	6,307	90.46%
	小計	11,210	9,283	120.76%	12,648	88.63%
貨物	普通	604	372	162.37%	617	97.89%
	小型	936	731	128.04%	850	110.12%
	小計	1,540	1,103	139.62%	1,467	104.98%
特殊等	特殊	323	222	145.50%	296	109.12%
	バス	42	40	105.00%	28	150.00%
	小計	365	262	139.31%	324	112.65%
総合計		13,115	10,648	123.17%	14,439	90.83%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス  
千葉トヨタ自動車㈱

### 3. その他の動向

#### 求人

##### 有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.76	0.73	0.03	0.59	0.17
茂原公共職業安定所管内	0.39	0.46	▲ 0.07	0.52	▲ 0.13
いすみ公共職業安定所管内	0.59	0.60	▲ 0.01	0.55	0.04
成田公共職業安定所管内	0.73	0.77	▲ 0.04	0.54	0.19
佐原公共職業安定所管内	0.58	0.57	0.01	0.36	0.22
千葉県	0.65	0.64	0.01	0.51	0.14
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.85	0.83	0.02	0.62	0.23
茨城県	0.82	0.84	▲ 0.02	0.67	0.15

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

#### 電力

##### 電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	442,182	417,196	24,986

東京電力(株)成田支社調べ

#### 倒産

平成24年(2012年)9月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は22件で、前月比で11件の減少となった。また、前年同月比でも12件の減少となった。

負債総額は今年最高額の117億2300万円で、前月比99億4100万円の増加となり前年同月比では79億3800万円の増加となった。9月は負債総額10億円以上の大型倒産は1件だが、97億円超の負債総額であった。

千葉県内の震災関連倒産は、9月は3件発生し、累計で32件となった。震災後、復興需要に関わる特需もあったが、厳しい外部環境から業績回復が果たせず、震災関連の倒産収束が見通せない。

県内では、放射能による風評被害に端を発して、海外や西日本に販路を有する企業で千葉県産ということで商談が成立しないケースも散見され、地域経済・雇用への影響拡大が懸念される。

また、円高・エネルギー価格の高騰が要因となり、幅広い業種で企業収益を悪化させており、企業倒産を抑制してきた政府施策も来年3月に終了する。県内中小企業にとって売上を向上できる明るい材料が見えない。企業体力を消耗させている企業も多く、今後の倒産は増勢傾向をたどる可能性が高い。

倒産会社の従業員数は154名で前月と同数であった。

産業別では「建設業」が10件を占めた。負債総額では「卸売業」が100億円と多く、次いで「建設業」が8億円となった。

原因別では、「業績不振」によるものが16件(構成比72.7%)と多く、次いで「放漫経営」が2件(構成比9.1%)となった。

地域別では、県西部での発生が多く、倒産形態では破産が18件、銀行取引停止処分が3件と続いた。

平成24年度上半期の倒産件数は、172件(前年比1.8%増)となり、3年ぶりに増加に転じた。負債総額は366億4200万円(前年比33.8%増)で負債総額10億円以上の大型倒産が7件(前年3件)発生し負債額が押し上げられた。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合  
銚子商工会議所  
株式会社 東京商工リサーチ  
国土交通省 統計情報  
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部  
千葉トヨタ自動車 株式会社  
ハローワーク銚子  
ハローワーク茂原  
ハローワークいすみ  
ハローワーク成田  
ハローワーク佐原  
ハローワーク常陸鹿嶋  
東京電力 株式会社 成田支社  
(順不同)  
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行 ; 銚子信用金庫  
編集 ; 営業推進部  
住所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5  
電話 ; 0479-25-2121  
FAX ; 0479-24-4591  
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp  
URL ; http://www.choshi-shinkin.co.jp

## ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の様々な経営と  
タイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じて  
ご提供するサービスです。

【年会費】17,850円 (うち消費税850円)  
【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん  
窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

### 経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。  
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

### 法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

### ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。  
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家が  
メールでアドバイスいたします。

### レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！  
みなさまのお申込みをお待ちしています。